

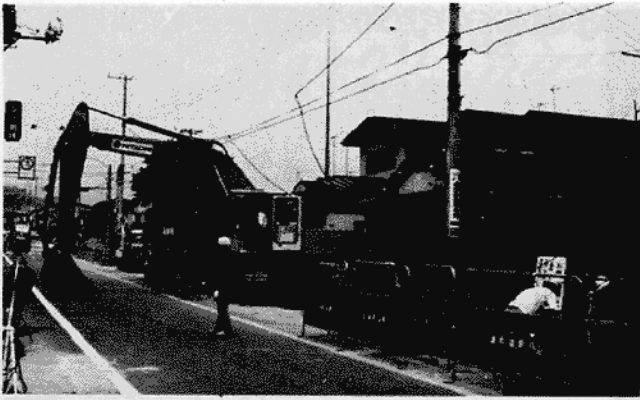
下水道で快適なくらし

九月十日は「下水道促進デー」

下水道は、河川や湖などの水質汚濁を防ぐ重要な役割を果たすとともに、快適な生活を確保するためには、なくてはならない施設です。

九月十日は「全国下水道促進デー」です。これは全国的に整備が望まれている下水道の必要性や役割を、皆さんに知っていただき、下水道整備の促進について、いっそうのご理解とご協力をお願いすることを目的としています。

進む下水道工事



日光市の公共下水道事業は、中宮祠終末処理場が昭和三十九年に、湯元終末処理場が昭和四十一年にそれぞれ完成しています。

また、県と日光市、今市市、藤原町の二市一町において「鬼怒川上流流域下水道事業」が進められており、これに併せて、日光市に

おいても、昭和五十五年から下水道管布設工事を始め、現在、相生町、松原町、石屋町、御幸町地内で工事が行われています。

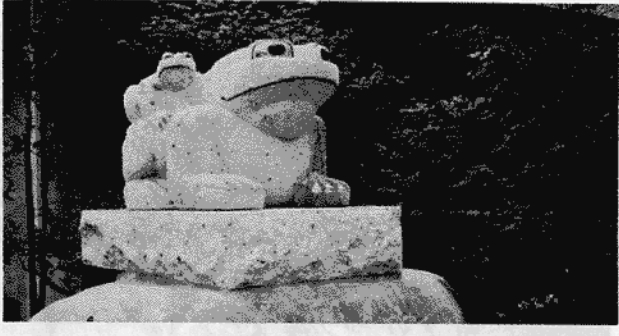
皆さんの住んでいる街に一日も早く下水道が完備され、快適な生活ができるよう、いっそうのご理解とご協力をお願いします。

観光客を「ムカエル」像

宇都宮市の枝和之さんが寄贈

枝和之氏（宇都宮市有限会社大谷レンタカー代表取締役）から寄贈された石造の「歓迎蛙」が、日光市総合会館横北側に設置され、八月二十日午前十時から、斎藤市長をはじめ、この事業に協力された寺田久蔵氏ら関係者二十人が出席し、二荒山神社の神官による入魂式が行われました。

この「蛙」は、大谷石製で、横九十七号、奥行百二十号、高さ七十二号あり、親ガエルの背中に子ガエルが五匹乗っており、計六匹のカエルがいることから「ムカエル」に迎える」とシャレたもので、日光市日光の客増と、安全祈願がこめられています。



八月号の広報でもお知らせしましたが、市では、市民旅行団を結成して、姉妹都市の八王子市を訪問することになりました。

八王子市は、古くから織物産業を中心に栄えてきた歴史と伝統を誇る街で、「明治の森、高尾国立公園」や、緑豊かな自然感は、「東京のオアシス」として多くの人に親しまれています。

八王子市とは、千人同心の縁で、昭和四十八年に姉妹都市の提携を結んでおり、今回の旅行は昭和五十一年に次いで二回目になります。

この訪問で更に相互の理解と親睦を深めるためにも、市民の皆さんの多数ご参加をお願いします。

なお、参加申し込みについては各世帯に配布されるチラシによりお申し込みください。
 期日、十一月二十六日（金）～二十七日（土）一泊二日
 行先、東京都八王子市、山梨県石和町
 交通機関、臨時列車（国鉄）と貸切バス利用

八王子市親善訪問旅行

申込みは10月30日までに

- 募集人員、五〇〇名
- 会費、二四、〇〇〇円（交通費、宿泊費その他諸経費含む）
- 申込方法、申込書に申込金一万円を添えて申し込んでください（残金は後日納金）
- 申込期間、九月十日から十月三十日まで
- 日程、午前六時国鉄日光駅集合。

- （第一日目）日光↓宇都宮↓新宿↓八王子（八王子市親善訪問、都立繊維工業試験場、多摩御陵、ショッピング）↓石和町（泊）石和観光温泉ホテル
- （第二日目）石和観光温泉ホテル↓ワイン工場・宝石工場・恵林寺（ホテルで昼食）↓どう園、善光寺↓甲府↓新宿↓宇都宮↓日光

